アップルだより

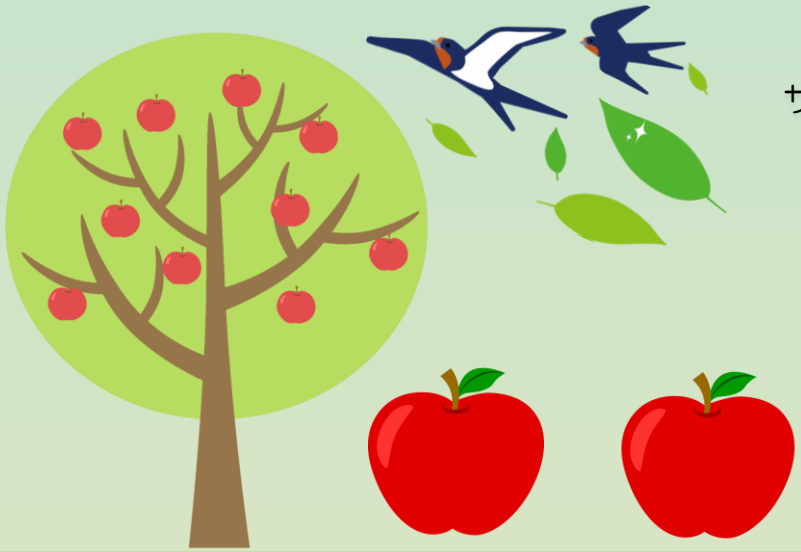
令和4年 3月 20日発行

編集
特別養護老人ホーム
サンアップルホーム広報係
〒036－8302
弘前市大字高杉字尾上山350
TEL0172－97－2111

総合施設長就任のご挨拶

　早春の候、皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より当施設の運営にご理解とご協力を賜り感謝申し上げ ます。

さて、去る令和４年２月１日、特別養護老人ホームサンアップルホーム並びにサンアップルホームグループ総合施設長を拝命いたしました東谷（あずまや）と申します。５年前まで、介護職員や生活相談員としてサンアップルホームグループに勤めておりましたので、名前に聞き覚えのある方もおられるかと思いますが、改めて初心に返り、学びを深めている最中であります。
特別養護老人ホームサンアップルホーム（昭和６１年７月開設）は、社会福祉法人七峰会創立者である相馬慶七が、りんごの里津軽の地に住む高齢者の方々が暮らす施設の設置にあたり「太陽の如く、明るく温かく愛と希望に満ちた生活へ」との願いを込め、その名称をサンアップルホームとしました。
　現在も開設当時と思いは変わらず、「やさしい人たちに囲まれて暮らすことの幸せ」「安心して日常生活を過ごせることの幸せ」「健康長寿で生きがいのあることの幸せ」を『高齢になった時の３つの幸せ』として掲げ、できるだけ自立した日常生活を送れるよう、専門職の力を合わせて支援させていただいております。
　一方、社会に目を向けると未だに新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い、地域経済を含む幅広い分野に大きな影響を生じさせています。また、少子高齢化に加え、情報通信技術の急速な発展により、暮らしのあり方が大きく変化し、当たり前が当たり前で無くなる時代ともなりました。２０４０年には、さらなる人口減少により、これまでと同様に地域で暮らし続けることが難しくなるとの予測もありますが、サンアップルホームグループでは、職員が一丸となり、これからも住みなれた地域で暮らし続けられることを目指して、一層の研鑽と努力を重ねて参ります。
　是非、これまで同様に皆様のご理解のもと、地域に根付いた施設として維持継続できますよう、変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます。



サンアップルホームグループ
総合施設長　　東谷　康生

節分

2月3日に利用者さんと職員とで豆まきをしました。職員は事前にそれぞれのお面を作成し、鬼の役を演じ「鬼は外、福は内」の掛け声と共に利用者さんに豆まきを行っていただきました。皆さん大きな声で元気いっぱいに豆を投げていました。また、今年は職員がお手製の豆まきポンプで力強い豆まきを披露し、大いに盛り上がりました！

豆まきの後は、利用者さんと共にお茶会を行いました。甘納豆や落花生を食べ、節分を味わえました。笑顔が溢れ、お互いに心が暖まる時間を過ごすことが出来ました。

3月3日は桃の節句、ひな祭りを行いました。 昼食はスペシャルメニューのちらし寿司を食卓で囲み、「美味しい！」と好評でした。
その後は利用者さんと一緒にお菓子作りを楽しみ、皆で美味しく頂きました。お内裏様とお雛様の置物を見て「あら～かわいいなあ。」「昔うちでも飾ったよ」と利用者さん達は笑顔で話されていました。ひなあられを食べ、ひな祭りの歌を職員と共に歌ったりと、ささやかながらお祝いしました。来年のひな祭りも、皆で元気に迎えることができるよう願っています。

担当職員から